

第4学年 社会科学学習指導案

日時 平成16年11月30日(火)5校時

場所 花巻市立笹間第一小学校 4年教室

学級 4年生(男17名、女12名)

指導者 清水 章男

- 1 単元名 私たちの県の様子
小単元 県の地図を広げて(8時間)

2 小単元について

(1) 教材観

社会科の3・4学年の目標に「地域における社会的事象を観察、調査し、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連について考える力を育てるようにする」とある。また、その力を育てる手立てとして、「(6) 県の様子について、次のことを資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ、県の特色について考えるようにする。イ 県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子や主な都市の位置」とある。

今までは、花巻市の社会的事象を見学や観察しながら社会科の学習を進めてきた。本教材で、初めて花巻市という観点から岩手県という観点へと広がりを見せる学習となる。そして、岩手県の特色を考えるために3つの視点を設けている。土地利用の様子と産業の様子、交通の様子である。

そこで、はじめに、花巻市は岩手県のどこに位置するかをとらえ、八方位を確認しながら隣接する市町村や県の主な都市を知る。次に、岩手の外観を左手を握ったこぶしの形をとらえ、東北6県を知り、岩手県という視点を持つ。続いて、岩手県の市町村のパンフレットや観光案内を使ってイラストマップを作り、岩手県という大きな視点に興味をもつとともに、13市29町16村あることをとらえる。そして、岩手県の様子をとらえるために3つの視点について調べていく。岩手県の土地利用の様子としては奥羽山脈と北上高地に囲まれた北上盆地に都市が発達していること、山地が海辺までせまっていること、産業の様子としては県北では酪農が、県南では農業が盛んなこと、また南部鉄器や秀衡塗りが盛んなこと、交通の様子としては国道4号線や東北新幹線が通っていることなどをとらえる。調べたことや発表を聞くことを通して、岩手県の様子をとらえる。最後に、岩手県につながりのある地域や国々を調べ、国にはそれぞれ国旗があることを知り、それを尊重していこうとする態度を育てる。

(2) 児童観

4年生になると県内の他の市町村に出かけたという経験の積み重ねも、かなりの数に上がってくる。1年生から社会科見学も何回か行われてきている。

社会科での学習は、今までは花巻市を中心に進めてきたが、これからは県という広がりをもった学習になる。見学や観察という実際に見て調べることでできる社会から、教科書や副読本、地図帳等の資料を活用しながら調べることが中心の社会となる。

児童は調べる作業には意欲的に取り組むものの、自分でそれを咀嚼し人に伝えるという経験は少ない。そこで、調べたことを人に伝えたり、自分が調べなかったことを調べた人から聞いたりしながら、自分の理解をより深いものにしていきたい。また、調べて終わりではなく、調べたことから何がわかるかという観点を大事にして、学習を進めていきたい。

(3) 指導観

これまでは花巻市のことを軸として学習を展開してきた。本単元では、花巻市の地理的位置を確認したり、岩手県の地形・産業・交通を調べたりするので、地図が学習の大きな手がかりとなる。そのため、地図を読むための基本的な指導をした後に学習を進めていく。

イラストマップ作りをすることによって、岩手県という観点に興味をもつことができる。自分たちの作ったイラストマップを見ながら話し合いを進めていくうちに、調べたいことがたくさん出てくると思われるので、土地の利用と産業、交通の3つの視点に集約し、調べる活動をしていくことを確認する。その際、学習班を形成し、班の中で責任をもって調べたことを伝え合うジグソー学習という学習形態で学習を進めていく。ジグソー学習は、学習班内で役割分担をし、同じ視点で調べる人が集まり、調査班を形成する。調査班では同じ視点から調べる活動を行い、発表しあう中で理解を深める。そして、学習班にもどって調べたことを責

任をもって伝える。このような学習形態をとることによって、効率よく学びあいながら、岩手県の様子をとらえさせるようにしていく。

ジグソー学習では、調べる時間が十分に確保でき自分の考えを持つことができるとともに、他の人からの質問や意見で今まで自分が気付かなかったことへの理解を深めていくことができる。このようなグループ学習を通して、一人一人の問題を解決する力を伸ばすことができると考え、ジグソー学習の形態をとった。

3 単元目標

- ・岩手県の地形、花巻市や主な都市の位置、土地利用の様子、産業の様子、交通、他地域や外国とのかかわりなどに関心を持ち調べようとする。 【社会的事象への関心・意欲・態度】
- ・岩手県の土地利用の様子や産業の様子、交通の様子から、岩手県の様子をとらえることができる。 【社会的な思考・判断】
- ・地図や資料から岩手県の土地利用の様子や産業の様子、交通の様子を読みとる。読み取った内容を白地図に表すことができる。 【観察・資料活用の技能・表現】
- ・花巻市の位置や主な都市の位置、岩手県の土地利用の様子、産業、交通、他地域や外国とのかかわりについて理解することができる。 【社会的事象についての知識・理解】

4 単元の指導及び評価計画（8時間扱い）

小単元名	学習活動（時数）	具体的評価規準				評価方法
		社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	観察・資料活用の技能・表現	社会的事象についての知識・理解	
県の地図を広げて	花巻市が県の中心から見てどこに位置しているのかをつかむとともに、八方位を知る。			イラストマップや地図帳を使い、花巻市の位置を調べることができる。	県の主な都市や八方位を理解する。	行動観察 発言 白地図 ノート
	県の地図から県全体の地形やまわりの様子をつかむ。			地図帳を使い地形の高低、大きさを調べることができる。	県の地形の大体や大きさを理解する。	行動観察 発言 ノート
	イラストマップ作りを通して、気づいたことや疑問をもとに課題を立て調べる計画を立てる。	県の様子について、関心をもち調べようとする。	イラストマップや話し合いから、県の様子を調べるための課題を考えることができる。			発言 ノート
	県の土地利用、産業、交通の様子についてそれぞれが課題について調べる。		県のそれぞれの様子を考えることができる。	資料を効果的に使い、課題について調べ、わかりやすい発表ができるように準備する。		行動観察 資料 白地図 ノート

	県の土地利用、産業、交通の様子について班員に伝える準備をする。			分かりやすく伝えるために付け加えるなどして準備することができる。		資料 白地図 ノート
	県の土地利用、産業、交通の様子について教え合う。（本時）		土地利用、産業、交通の様子から県の様子をとらえることができる。		土地利用や産業、交通の様子について理解する。	行動観察 白地図 ノート
	岩手県内を旅行する計画を立て、県の特色について理解を深める。	調べたことや聞いたことを生かし意欲的に県内旅行計画を立てようとする。	県内を旅する計画をたて、地形や産業、交通の結びつきを考えることができる。			発言 ノート
	県と他地域とのかかわりや友好の様子をとらえる。			地図帳や資料をもとに他地域とのつながりを調べることができる。	国旗を知り他地域とのかかわりについて理解する。	行動観察 発言 ノート

5 本時の指導（6 / 8）

（1）授業の構想

児童はイラストマップ作りを通して、岩手県について理解を深め調べようとする意欲をもった。岩手県の様子について調べる計画を立てるときに、3つの視点（土地利用の様子、産業の様子、交通の様子）で調べることとした。学習班を形成し、班の中でそれぞれが調べることを分担し、それぞれが岩手県の様子について調べ理解を深めてきた。

前時は、同じことを調べている調査班の中で発表をしい、調べたりなかったことを付け加えるなど発表の準備をした。

本時は岩手県の様子について調べてきたことを、学習班のほかのメンバーに伝える。発表者はリーダーの進行に従い、それぞれが分かりやすい発表を心がけ、大事なポイントを伝えるようにする。質問があった場合はそれに答えられるように準備はしておく。また、聞く側は自分が調べていない岩手県の様子について理解するように聞く。ポストイットを用意し、質問事項を書き込みながら発表を聞き、発表を聞き終えたならば質問し、理解をさらに確かなものとする。

そして、全員が発表を終えたならば、調べたことや聞いたことを確かめる穴埋めプリントを行う。そこで、岩手県の様子についてまとめていく。わからない所は発表資料を見たり、調べた人に聞いたりなどしてわかるようにし、岩手県の様子についてまとめていく。

（2）具体的評価規準

評価規準	具体的評価規準		努力を要すると判断された児童への手立て
	十分満足	おおむね満足	
土地利用、産業、交通の様子から県の様子をとらえる。 【思考・判断】	県全体の土地利用、産業、交通の様子から県の様子を複合的に考える。	県全体の土地利用、産業、交通の様子から県の様子を考える。	発表資料や書き込みを見て、県の土地利用、産業、交通の様子をとらえさせる。

土地利用や産業、交通の様子について理解する。 【知識・理解】	調べたことや聞いたことをもとに土地利用や産業、交通についてわかったことをまとめる。	調べたことや聞いたことをもとにわかったことをまとめ、わからなかった所は調べてわかる。	発表資料を見て、わからない所をまとめていくようにする。
-----------------------------------	---	--	-----------------------------

(3) 展開

過程	学習内容と学習活動	教師の指導・援助	評価 具体的手立て
つかむ 2分	1、自分が調べてきたことを班のメンバーに伝えることを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">岩手県の様子をまとめよう。</div>	・課題はあらかじめ立てておくので、全員で確認し、調べてきたことを通して、岩手県の様子をとらえることをおさえる。 ・調査班で調べたことを班員にしっかり伝えようという発表意欲をもたせる。	
調べる 30分	2、調べてきたことについて班ごとに教え合う。 ア 土地利用の様子について イ 産業の様子について ウ 交通の様子について (1) 各自の調査内容(研究班で調べたことや深めたこと)を発表する。 (2) 他の発表を聞き、疑問に思ったこと等を出し合い、深める。	・学習班内で発表と質疑がきちんと行われるよう、次の点について指示する。 リーダーの進行 発表の際の聞く態度 ・発表を聞きながら疑問に思ったことをポストイットに書き込む。 ・質問の答えはポストイットに書き込み、発表資料に貼る。	
まとめる 13分	3、班で発表しあったことをもとに県の様子についてわかったことを考え、まとめる。 (1) 土地利用について ・山地、盆地、海岸線の様子と特徴 (2) 産業について ・県の農業、工業、水産業等の様子 (3) 交通について ・道路、鉄道、空港の様子 4、次時の課題を知る。	・学習プリントに穴埋めをしていき、岩手県の様子を確かめる。 ・調べたことや発表を聞いたことを通して、岩手県の様子について考えたことをまとめる。	【知識・理解】 県の様子について理解できたか。(プリント)支援 ・発表資料を見て、わからない所をまとめていくようにする。 【思考・判断】 県の様子をとらえることができたか。(発表、ノート)支援 ・発表資料や書きこみを見て、岩手県の土地利用、交通、産業の様子をとらえさせる。